



CO-OP OITA REPORT 2020

コープおおいたレポート

生活協同組合コープおおいた
役員室広報課

〒870-0728 大分県大分市青崎1丁目9番35号
TEL.097-524-0119 FAX.097-524-0128
<https://www.oita.coop>

 コープおおいた

生活協同組合コープおおいたの基本理念

『安全・安心、豊かな暮らし』 ひとはみんなのために、みんなはひとりのために

組合員のくらしや地域社会でうまれた課題解決に向け、
事業と活動をととして社会的な取り組みを推進しています。
人と人の結びつきを大切に、地域のくらしを支え、
コープおおいたのある街に住んでよかったと
思ってもらえるような存在でありたいと願っています。

CO・OP = Co-operative

生協はよりよいくらしを願う消費者一人ひとりが
組合員となって参加し、出資、利用、運営する協同の組織です。
営利を目的とせず事業を行う、自主的な消費者団体です。



表紙イラスト

表紙は、大分県在住の絵本作家
「ザ・キャビンカンパニー」による
「SDGs」と「コープおおいた
2030年ビジョン」をイメージした
オリジナル作品です。

コープおおいたレポート2020 編集方針

コープおおいたは事業と活動をととして、地域の
くらしと社会をよりよくするためにCSR活動(企業の
社会的責任)に取り組んでいます。コープおおいた
レポート2020では、「コープおおいた2030年
ビジョン」を指針とし、SDGs(持続可能な開発目標)
との関連性をともに伝え、主な取り組みを抜粋して
ご報告いたします。

対象期間:2019年4月~2020年5月

組織概要 (2020年3月31日時点)

創 立 / 1952年(昭和27年)12月	本 部 所 在 地 / 大分県大分市青崎1丁目9番35号
代 表 者 / 代表理事 理事長 青木博範	事 業 エ リ ア / 大分県全域
組合員数 / 17万3,948世帯(世帯加入率35.1%)	グループ会社 / (有)ヒューマック大分
出 資 金 / 60.95億円	(株)コープハウジング大分
総事業高 / 181.5億円	(株)コープサービスおおいた
供 給 高 / 宅配102.7億円 店舗77.4億円 福祉1.4億円	(株)コープキッズおおいた
職 員 数 / 222名(正規職員) 559名(定時職員)	(株)ハートコープおおいた
	(株)夢ファームおおいた

CONTENTS

基本理念	P02	特集3 大分に生まれてきてくれてありがとう 「はじめてばこ」を贈ります	P16	社会全体へ貢献する 平和・学び	P22
事業案内	P04	特集4 災害支援・福島支援	P17	特集 ウイズ・コロナを考える	P23
トップメッセージ	P05			地域環境を保全する 環境	P24
コープおおいた2030年ビジョン	P07			環境活動を推進する リサイクル活動	P25
特集		取り組み紹介		コープおおいたと地域の歩み	P26
特集1 CO・OPふらいる 「29年目のリニューアル」 「地域の真ん中、夏祭り」	P12 P13	くらしに寄りそう 子育て支援	P18		
特集2 パートナースhipがつなが商品づくり 「組合員の声を活かして つくられているとうふ」	P14	ライフスタイルに寄りそう 多様化するくらし	P20		
		地域をつくる 住み続けられる街づくり	P21		



宅配

山間部や離島を含む大分県内全域で、個人配達・共同購入・法人配達を展開しています。徹底した品温・品質管理のもと、ご注文商品をご家庭にお届けしています。毎日の配達をとおして、地域や高齢者の見守り活動も担っています。



店舗

コープ商品をはじめ、産直野菜や生鮮食品など、「より良いものをより安く」をキーワードに地域のニーズに合わせた品ぞろえを展開しています。資源回収やプラスチック製品の削減など、環境に配慮したお店づくりを推進しています。



福祉事業

可能な限り住み慣れた地域で「自分らしい暮らしを最後まで続けたい」という利用者の思いを大切に、「生協10の基本ケア」を介護の基本として高齢者福祉施設を運営しています。



移動店舗販売事業

お買い物が困難な中山間地域や高齢化のすすんだ団地や高齢者施設を巡回しています。地域にお店のない世帯の食の安全・安心を支え、見守り活動も担っています。



お買い物サポートカー事業

体力の低下や運転免許証の返納などで日々のお買い物にお困りの方を、週に1回、決まった時間・曜日に最寄りの店舗へ専用の車両で無料送迎しています。



共済事業

ケガや病気、災害など組合員の暮らしの「もしも」を保障する共済を取り扱っています。「自分の掛金が誰かの役に立つ」という組合員どうしの助け合いの心を形にしています。



スマイルさぼーと事業

組合員どうしの「くらしの助け合い活動」を事業化し、食事づくりや掃除などの家事支援、子どもの見守り、通院同行など、くらしのお困りごとをサポートしています。



弁当宅配事業

高齢者を中心に、離れてくらすご家族が心配な方、産前産後の方や仕事で忙しい方へ安全・安心な食材を使った手作りのお弁当をご自宅までお届けしています。



地域のくらしを
守り続けていく
使命を果たす



日頃より、生協の事業やサービスをご利用いただいている組合員のみなさまをはじめ、商品をご提供いただいている生産者とお取引先のみなさま、そして生協活動への深いご理解とご支援をいただいている関係者のみなさまに心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、世界中で予防対策に取り組みながら、“人類はみなひとつ”のもと、ウイルスと闘っています。いまだ収束の兆しが見えない状況ですが、かならずこの闘いに勝って、再び、安心してくらす世界を実現していきましょう。

私たち生協は、くらしの最も大切な生活基盤である食品の提供を柱に、宅配事業や店舗事業、買い物弱者支援のサービスを展開しながら、地域のくらしを守り続ける努力を日々積み重ねています。多くの生産者やメーカー・お取引先のみなさまに支えられながら、県内17.3万世帯以上の組合員にご利用いただけるまでに成長させていただきました。

大分県内最大の消費者組織として、地域が生協に期待する役割と責任も大きくなっています。いまこそ、私たちがこれまで組合員や地域と一緒に培ってきたこの事業やサービスを役立てるときだと考えています。それが使命だと信じています。

私たちは「コープSDGs行動宣言」で掲げた「誰一人取り残さない。誰もが安心してくらし続けられる地域社会」の実現に向け、全国の生協とともに、地域が抱えているさまざまな問題の解決に取り組んでいます。

身近な子どもの貧困問題や、食糧問題、環境問題から、少子化・高齢化による福祉や健康問題、エネルギーや気候変動などの地球規模の問題まで、活動は広範囲です。生協だけで解決する問題ではありません。

みなさまとのパートナーシップ関係をより深く、強く結びながら、これからも生協への期待と役割を発揮していきます。引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。

生活協同組合コープおおいた
代表理事 理事長 青木 博範

持続可能な 地域づくりを 一緒に！



日頃より、コープおおいたの事業活動やサービスに、多大なるご理解とご協力をいただいていることにあらためて感謝申し上げます。

現在私たちは、これまでに経験のない世界的な危機に直面しています。もちろん関心事は新型コロナウイルス感染をどう収束させるかということですが、私たち生協が提供する事業と活動の領域でも、側面的に支えることができています。

店舗事業・宅配事業では安全・安心な「食」を中心としたくらしの支えを。基幹事業以外にも、移動店舗販売やお買い物サポートカー、弁当宅配など買い物弱者支援としての領域、福祉や介護といった高齢者支援の領域、保育園や学童クラブといった子育て支援の領域でも、地域へのお役立ちを継続してまいりました。今後も組合員の期待や要望に応えるために、これまで積み重ねてきた役割と責任を継続し成長させていかなければと考えています。

コープおおいたでは、「2030年ビジョン みんな

のくらしに満足～ここであす、コープがあす。～」を採択し、新しい歩みをスタートさせました。全国の生協とともに取り組んでいく「コープSDGs行動宣言」の7つの目標と密接につながり、かつ、全世界がともにめざす「持続可能な開発目標SDGs」の17の目標の一つひとつともリンクしています。大分県において、組合員だけでなくたくさんの県民のみなさまにお知らせしていくことが最も重要な課題と位置づけ、生協をご利用いただいたときの満足をどれだけ多く、どれだけ高いレベルで提供できるのかを意識しながら、組織活動をすすめていきたいと考えています。

これまで以上に、多くのご支援をいただきながら、事業活動と社会貢献を両立させて、県民のくらしに根付いた生協になれるよう取り組んでいきます。引き続き、今後ともよろしくお願い申し上げます。

生活協同組合コープおおいた
専務理事 江藤 隆康

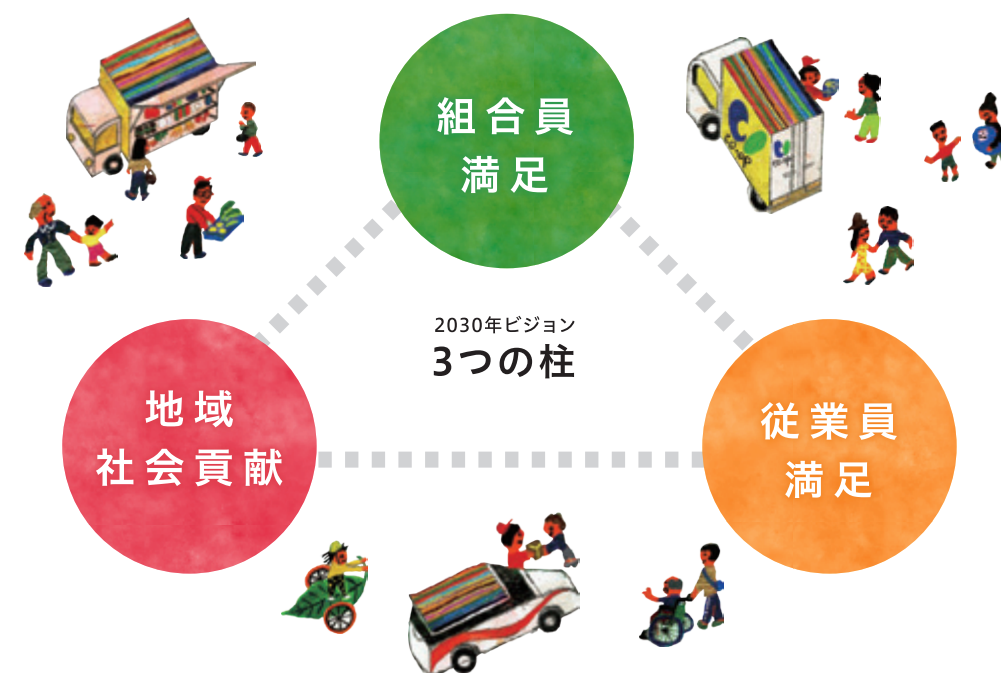


コープおおいた2030年ビジョン

みんなのくらしに満足～

～ここであす、コープがあす。～

変えなげやいけないこと、変えてはいけないこと。
10年後を考えると、明日のくらしがみえてくる。



確かな経営基盤

大切にしたこと

- 1 地域のくらし満足度の向上を追求する。
- 2 事業・サービス品質の向上を進める。
- 3 やりがい、働きがいがあるコープへ進化する。
- 4 行政や他団体と連携して、コープの信頼を高める。
- 5 地域社会のくらしを担う存在であり続ける。

10年後のありたい姿

生協は協同の心を大切に、社会問題の解決や公平な社会システムの実現のために活動し続けてきました。今までもこれからも、地域でくらすみんなが満足し、笑顔あふれる社会を実現していきます。人と人のつながりを大切に、誰一人取り残さない持続可能な地域社会を見据え、コープおおいた2030年ビジョンを掲げます。私たち“みんな”の新たな10年間がはじまります。

Mission 組合員満足

くらしに役立ち、 寄りそい、支え合うコープ



多様化する
地域の不安を解消し、
期待と要望に応えられる
「安全」「安心」「満足」な
商品とサービスを



時代やくらしの
変化に応じたコープ、
地域の声をクイックに
適正に反映できる
コープへ



事業やサービス、
組合員活動をととして、
家族の時間、
世代や地域を越えた
場と時間の共有を

Mission 地域社会貢献

人とつながる、 地域とつながるコープ



「コープSDGs行動宣言」に
沿った取り組みをととして、
コープおおいたらしい
地域・社会貢献を



大分県内すべての市町村と
「地域包括連携協定」を
締結し、地域の課題を
パートナーシップで
解決しよう



大分県民みんなが
コープおおいたと
その商品・サービス・
活動を知っていて、
いつでも頼られるコープへ

? なぜビジョンが必要なの?

コープおおいたが2030年までの10年間、「どこに向かって」頑張るかを明らかにするためにビジョンを策定し、「何のために」頑張るかを明らかにするために4つのミッションを掲げました。

コープを利用する組合員や地域みんなの豊かなくらしのため、コープで働くみんなの幸せと誇りのため、コープが地域社会に役立ち、大分の元気をサポートするため、私たちのビジョンをさまざまな場所で伝えていきます。

Mission 従業員満足

自信と誇りをもって、 安心して働きつづけられるコープ



ボランティアや
地域活動をととして、
地域の元気に
寄与できる
環境と機会を



人を大切に、
人が育ち育てる
組織風土を



みんなの挑戦を
応援する組織と、
自ら行動し
意欲ある従業員に



人生設計に
寄りそいながら、
誰もが自分らしく
活躍できる環境を

Mission 事業経営

みんなが安心して、 確かな将来設計ができるコープ



ビジョンを実現していく
活動財源として、
安定した事業経営基盤を



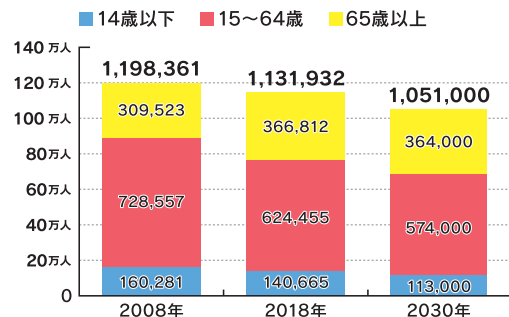
組織率
50%



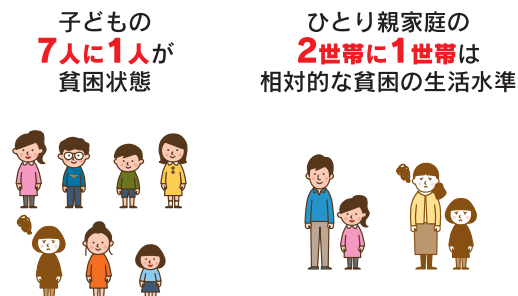
地域生活の基盤となる
事業やサービスを展開し、
地域になくしてはならない存在へ

10年後の大分県の姿

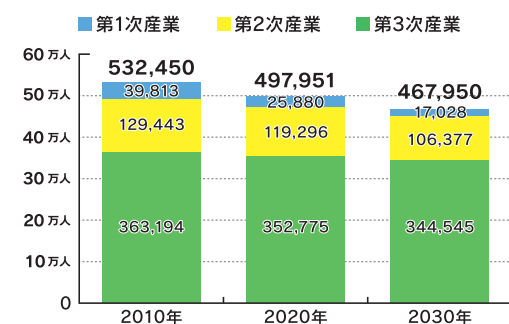
●人口減少・高齢化



●格差の拡大



●産業別就業者数



グラフの出典:「大分県の人口推計報告」、「中長期県勢シミュレーション」大分県

●デジタルイノベーションの加速

会社や地域社会、産業全体のデジタル化の進展のことです。お買い物や旅行がインターネットを介したバーチャル世界で完結できる時代が到来するかもしれません。

●消費・空間・時間のシェアリング・エコノミー

ヒト・モノ・場所・乗り物・お金など、個人が所有する活用可能な資産を、インターネットを介して個人間で貸し借りや交換することで成り立つ経済の仕組みのことです。

コープSDGs行動宣言

2015年、国連で持続可能な開発目標(SDGs)が採択されました。コープおおいたも世界中の人々とともにSDGsの実現に貢献することを約束し、全国の生協と一緒に「コープSDGs行動宣言」を掲げています。

12 つくる責任 つかう責任 商品とくらしのあり方を見直します	11 住み続けられる まちづくりを 地域社会づくりに参加します	13 気候変動に 具体的な対策を 再生可能エネルギーを利用・普及します	7 エネルギーを みんなに そしてクリーンに 核廃絶・世界平和の実現をめざします
3 すべての人に 健康と福祉を 福祉事業・助け合い活動をすすめます	1 貧困を なくそう 子どもたちを支援する活動をすすめます	5 ジェンダー平等を 実現しよう 多様な人々が共生できる社会をめざします	16 平和と公正を すべての人に SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS こちらをご覧ください。

チームで実現する2030ビジョン

コープおおいたは6つのグループ会社とともに、地域社会の豊かなくらしと、毎日の安全・安心をサポートしています。2030年ビジョンでは、事業間の連携によるグループ全体のさらなる発展をめざしています。



株式会社 コープサービスおおいた

コープおおいたの宅配業務受託、弁当宅配、介護食、宅配水、その他請負事業



全国配送対応コンテスト

コープハウジング大分

コープ自由設計の新築家屋、外壁塗装や水回りなどの住宅総合リフォーム



住まいの大感謝祭

有限会社 ヒューマック大分

各種保険取扱い、チケット・プレイガイド、ドローン航空学校など



コープドローン倶楽部

コープキッズおおいた

保育園や放課後児童クラブなどの児童福祉施設の運営、行政・各団体と連携した子育て支援



お餅つき大会

ハートコープおおいた

就労継続支援A型事業所の運営や施設外受託などの障がい者福祉事業



菌床しいたけの販売

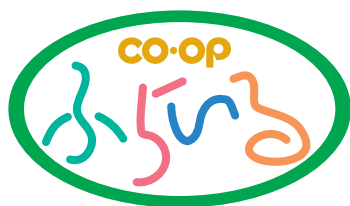
夢ファームおおいた

農産青果物の生産・流通・販売、新規就農支援、地産地消の推進



食育・農業体験

29年目のリニューアル



CO・OPふらいるは1991年に開店し、『食の豊かさと楽しさを提供するお店』を追求し続けています。地域のみなさまの暮らしに密着し、ワクワク感とともに買い物を楽しんでもらえるよう、工夫を

凝らした店づくりと、ニーズに応える品ぞろえにこだわっています。

変わりゆくライフスタイルに合わせ、ミールキット(カット済み食材セット)や、味付き食材などが充実。商品棚は従来よ

りも低く、通路はさらに広く。ご家族の買い物が楽しくなる店内設計にしました。いままでもこれからも、信頼いただける商品を食卓へお届けするため、コープのお店は日々進化し続けています。

CO・OPふらいる名前の由来

「ふらいる」とは北欧神話に出てくる「豊穡の女神 フレイヤ」に由来しています。「豊かな実りや潤いを施す女神のような

お店になるように」と組合員によって名付けられました。



地域の真ん中、夏祭り



8月の「CO・OPふらいる 夏祭り」は、地域の風物詩。駐車場にはステージが出現し、お祭り会場に早変わり。店内手作りのからあげや焼きそば、ケータリング屋台が所狭しと並びます。会場内は家族

連れで大にぎわいとなり、さまざまな演目を楽しめます。ダンスや空手などを披露しているのは、CO・OPふらいる2階のホールで開所している、さまざまな習い事の生徒さんたち。日々の練習の成果

を存分に発揮します。
毎日のお買い物だけでなく、地域の一員として住民交流の役割も担っています。

CHECK! 地域をつなぐ、コープのお店

コープおおいたのお店では、店舗の従業員や組合員でつくる店舗委員会が中心となり、地域住民のつどいの場所となれるよう、さまざまな催しに取り組んでいます。

子どもたちの
バックヤード
探検



マグロの
解体と
即売会



コープつぐみ
20周年



お肉の
産直交流会



恵方巻
海苔の
招福祈願



コープ下郡
10周年



組合員の声を活かして つくられているとうふ



コープおおいたのプライベートブランド商品である『もめんとうふ』『絹ごしとうふ』『ソフトもめんとうふ』は、組合員の声によって原材料や製法、食味などの改善を重ねてきた商品です。これらのとうふが『九州乳業(株)』でつくられていることをご存じでしょうか。『九州乳業

(株)』といえば、牛乳や乳製品の製造で知られていますが、牛乳工場と同じ敷地内にある工場で、実はとうふも製造しています。

とうふのおいしさは、使用する大豆・水・凝固剤に左右されるといわれています。『もめんとうふ』と『絹ごしとう

ふ』は、アメリカの大豆生産者ボブ・シナーさんの農園で栽培されている遺伝子組み換えでない大豆を、『ソフトもめんとうふ』は国産大豆を使用。水は、工場付近の七瀬川水系の地下水を使用し、とうふを固める凝固剤として、昔ながらのにがり(塩化マグネシウム)を使用してい

ます。これらの原料をもとに、豊かな大豆の風味を引き出し、それぞれに食感の異なるコープのとうふがつくられています。

とうふ工場の稼働は毎朝3時半から。オートメーション化された大型の機械によって、毎日とうふが大量に製造されています。「現在は機械がとうふの仕上がりを自動調節して、安定したおいしさのとうふを製造できるので、私たちはいかに機械に対する知識を持っているかが大事なんです。それと同時に、機械導入以前から工場で働いていたスタッフの、昔ながらのとうふづくりの経験や知識も参考にしています」と『九州乳業(株)』生産



▲大豆生産者ボブ・シナーさんとの交流会

本部製造部豆腐生産課次長の林浩一さん。機械化されているとはいえ、季節によって変化する温度・湿度に合わせて、原料大豆を水に浸ける時間を調整したり、大豆を蒸煮する温度や時間を調整したりと、人の感覚も大切に丁寧な製品づくりが行われていました。

『九州乳業(株)』が製造するコープおおいたプライベート商品のとうふは3種類4商品。開発から35年以上、組合員の声をもとに何度も改善を重ねてきました。食感や風味、固さなどを、ぜひ確かめてみてください。

COLUMN 毎日のお買い物で世界を変える

生協では地域や環境、社会や人々に配慮して、誰かの笑顔につながる商品やサービスを選び、購入することを「エシカル(倫理的)なお買い物」と表現し、積極的に応援しています。地産地消や共同開発商品、寄付ができる商品などの商品開発を推進しています。

私たち生協はエシカル消費を4つの視点ですすめています。

地域

豊かな地域をつくり出す



環境

地球の環境を守り続ける



社会

公正な社会の仕組みをつくる



人々

人々の「生きる」を支える



コープのエシカル

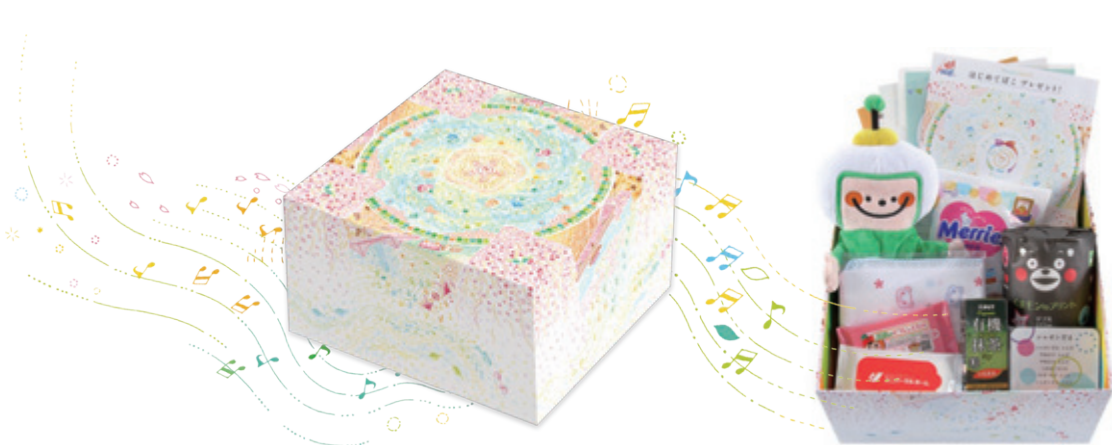


特集 3 大分に生まれてきてくれてありがとう 「はじめてばこ」を贈ります

「はじめてばこ」は、これからたくさんの“はじめて”に出会う赤ちゃん、ママ、パパを応援するため、特製の「童謡カード」や、さまざまな企業からのプレゼントを詰め合わせた、たて33cm×よこ33cm×高さ19cmの大きくて丈夫なお祝いの箱です。大分限定デザインで、たくさんの「おめでとう」と「生まれてきてくれてありがとう」の気持ちをこめて、コープおおいたが各ご家庭まで大切にお届けしています。



箱の中のプレゼントは、時期や協賛企業によってさまざまに入れ替わります。多くの企業がパートナーシップを発揮し、新たな発見とワクワクする気持ちをご家庭へお届けしています。コープおおいたでは、地域社会貢献と子育て支援の取り組みとして、プレゼントの提供はもちろん、箱詰め作業と各ご家庭への配送を担当しています。箱詰め作業は、(株)ハートコープおおいた青崎事業所(就労継続支援A型事業所)が担い、働きがいとやりがいの創出へつなっています。



内容は一例です。

2019年度の「はじめてばこ」お申し込み件数 **4,141**件



特集 4 災害支援・福島支援

ふくしまっ子応援プロジェクト

東日本大震災以降、毎年開催している福島支援の保養プロジェクトで、2019年で9年目を迎えました。プロジェクトは生活協同組合コープおおいた、大分県社会福祉協議会、エフコープ生活協同組合(福岡)、コープさが生活協同組合(佐賀)の4団体で構成しています。各県でさまざまな楽しみ企画を開催しています。



福島復興義援金

2019年度: **355万6,973円**

店舗では毎月11日を「ふくしまの日」とし、売り上げの1%を義援金として積み立て、毎年寄付しています。
2011～2019年度累計:2,696万4,903円

令和元年東日本台風(台風第19号)

2019年10月12日から13日にかけて上陸した、過去最強クラスの勢力の台風第19号により、東日本を中心に複数の河川が氾濫し、各地で土砂崩れが発生するなど甚大な被害をもたらしました。被災された方々に寄りそい、少しでもお役立ちができるよう、同月18日から20日にかけて福島県へ支援物資を運搬し、現地で直接お渡ししました。また、長野市穂保地区(千曲川の氾濫による被災地域)と、宮城県丸森町(阿武隈川の氾濫による被災地域)にて、コープおおいたの従業員が支援活動に参加しました。



台風第19号被害緊急支援募金

募金総額: **672万5,519円**

募金は日本生活協同組合連合会を通じて、被害の大きかった自治体へは義援金として、被災地で生活支援などを行う民間団体などへは支援金として寄付しました。

災害時応急支援物資担当者連絡協議会

大分県内で災害が発生した場合、コープおおいたが各自治体と結ぶ災害物資協定と地域包括連携協定が有効にお役立ちできるよう、毎年1度、行政の防災担当者にお集まりいただき協議会を開催しています。





子育て支援



大分県との子育て交流会

大分県と結ぶ地域包括連携協定にもとづき、大分県福祉保健部 こども未来課 子育て支援班とともに、現役のお母さんと行政が子育てサービスについて意見交換できる交流会を開催しました。



絵本の読み聞かせ

子どもたちの想像力をはぐくみ、親子の豊かな関係づくりの創出などを目的として、映画館のキッズスペースや店舗のレストスペースで、絵本の読み聞かせや手遊びを定期的に開催しています。



留学生と国際交流

子どもたちが異文化にふれ、海外の方々と交流することを目的に、立命館アジア太平洋大学および田北調理師専門学校に在籍する留学生と異文化料理の親子料理教室を開催しました。



認知症キッズサポーター養成講座

大分合同新聞社主催の認知症キッズサポーター養成講座にて、コープおおいたが講師を務めました。小学校3～6年生の子どもたちが参加し、地域でくらす認知症の方々への理解と学びを深めました。講座終了後は、認知症サポーターの証であるオレンジリングを進呈しました。



子どもたちの豊かな心をはぐくみ、
親子のコミュニケーションをサポートします。



親子deクリスマスパーティー

工作や歌、ダンスを織り交ぜ、家族で過ごす楽しいひと時を提案しています。「親子de」とつく催しは、ほかにも映画館での読み聞かせや料理教室などを開催しており、いずれの企画も食育や文化との触れ合いなどに取り組んでいます。



体験農場

九重町では田植えと稲刈り体験を、豊後大野市清川町では農業体験を開催しています。草むしりや種まきなどの畑の準備から収穫までを体験し、食べ物がどのようにして育てられ、家庭に届き、調理され食卓に並ぶのかを、子どもたちと学んでいます。



絵本×食育講座

絵本の世界に飛び込んだような、想像力豊かなひと時を創出しようと、絵本の読み聞かせとその本に出てくるお菓子を実際に作る食育講座を開催しました。



3世代子育て交流会

子育ての環境や科学の進歩により子育ての方法は変化しますが、人として育ってほしい心の在り方、教育などは変わらないこと、自信をもって子育て・孫育てを楽しむことなどを再確認しました。

保護者が子育て講座の受講中、子どもたちは紙皿や新聞紙を使った工作教室に参加しました。



CHECK! 組合員と取り組む募金活動

2019年度各種募金状況

- ユニセフ募金……………1,176,429円
- 平和活動募金……………10,431円
- ふくしま支援募金……………74,253円

- ふくしまっ子応援プロジェクト募金……2,300円
- ハンガー・フリー・ワールド支援募金……1,625,209円

※「ハンガー・フリー・ワールド支援募金」はハガキなどの換金実績です。

ライフスタイルに
寄りそう

多様化する暮らし



健康に配慮した料理教室

日々の食事を健康や安全を心掛けながらとっていただき、より豊かな食生活習慣を提案するため、田北調理師専門学校の講師を招いて料理教室を開催しました。



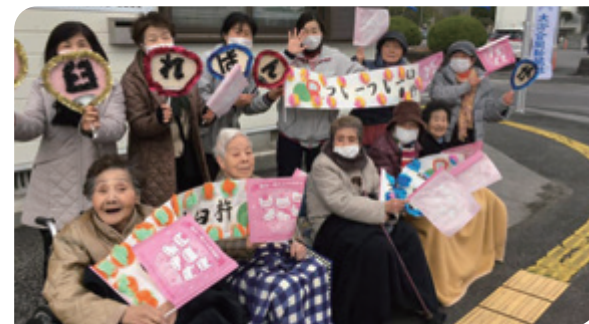
組合員親睦イベント

シニア層のご家族での組合員活動参加と、地域間交流の創出を目的に、スポーツイベントや学習会を開催しています。アクティブシニアの活動の場をさらに広げるため、今後も継続して取り組みます。



地域参加を応援

福祉事業部のさまざまな高齢者介護施設では、利用者の尊厳をまもり、自分らしい暮らしをいつまでも続けていただけるよう、「生協10の基本ケア」の実践や積極的な地域参加に取り組んでいます。



地域づくりに参加

コープおおいたの運営方針に対して「事業や活動はどうだったのか」を振り返るとともに、地域にはどんな課題や問題があるのかを協議する総代説明会を年3回開催しています。組合員の願いや思いを取り入れた活動や事業を行っています。



地域を
つくる

住み続けられる街づくり



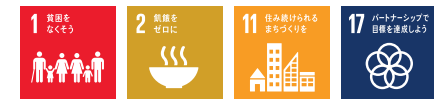
大分市と地域包括連携協定

地域社会の一員として、多様化する暮らしの変化に対応するとともに、地域が抱えるさまざまな課題の解消と持続可能な地域社会をめざし、行政や各自治体と包括連携協定の締結をすすめています。コープおおいたは大分県、臼杵市、大分市、杵築市、日田市、豊後大野市、日出町と締結しています。



生産者をサポートする「援農」

農産地では、高齢化や過疎、跡継ぎの不在などの理由から人手の確保が困難となっている現状があります。大変な思いをしながら作物を届けてくれる生産者の力になろうと、「援農」の取り組みをスタートし、援農体験・ボランティアを随時募集しています。



もったいないをありがとうに

店舗のサービスカウンターや宅配の配達担当者をとおり、フードドライブに取り組んでいます。寄付された食品などはフードバンクおおいたを通じて、子ども食堂や福祉施設などに無償で提供されています。

2019年度寄付していただいた食品総量 **43,069品 (18,230kg)**



地域のイベントで交流

地域の自治体やメディア各社、友好団体・取引先などが主催するイベントへの出展・協賛をとおり、産直商品の利用普及や生協活動のPRを積極的に行っています。従業員と組合員理事、組合員スタッフやサポーターなどと協力し、交流の場を広げています。



社会全体へ
貢献する

平和・学び



平和のつどい

平和の尊さを次の世代へつなぐため、コープおおいた主催の平和のつどいを毎年開催しています。原爆パネル展や未来の自分や家族へ向けた手紙、最新のVR技術を使った爆心地体験など、足を運んでいただける企画づくりにも積極的に取り組んでいます。



食育講演会

2019年度の講演会では、身の回りの食べ物に含まれているさまざまな物質や、近年生まれた新しい食品加工技術について学習しました。食育学習をとおして、食品に関する正しい知識を身につけ、誤った情報や憶測に惑わされない消費者知識をはぐくんでいます。



ヒバクシャ国際署名

ヒバクシャ国際署名は、核兵器廃絶を求める被爆者の想いに賛同し全国の生協で取り組んでいます。署名数は47都道府県240生協で267万2,148筆が集まり、コープおおいたでは4,477筆*が集まりました。署名は、2020年10月に開催される国連総会へ提出予定です。

※2020年6月30日時点



けんぽう学習会

くらしを取り巻くさまざまな課題を考える学びの機会を創出し、自らの意思をもってさまざまな社会問題を鑑みられる消費者育成をめざし、憲法や法律をテーマにした国民的課題学習会を開催しています。



特集

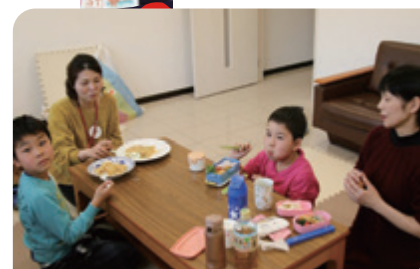
ウィズ・コロナを 考える



新型コロナウイルス感染症に罹患された方々およびご家族、ご関係者のみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

日本中で、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」が取り組まれ、世界では「ニューノーマル(新たな日常)」を模索する動きが広がっています。

コープおおいたの事業は、組合員と対面・会話をさせていただくことの多い業種のため、従業員のマスク着用やパーティションの設置、施設内の消毒、換気などを実施しています。コープを必要としている多くの方々へ、事業やサービスを絶え間なく提供できるよう、事業の見直し、新しい働き方の実践に挑戦し続けています。



事業所内託児 (子連れ出勤)の推進

学童クラブや児童福祉施設の休業・時間短縮運営を受けて、子育てをしている従業員が安心して働ける環境をつくるため、事業所内託児(子連れ出勤)を開始しました。



3密を避ける お買い物

店内ではお会計待ち時のソーシャルディスタンスの保持や金銭のトレー受、店内人数制限などさまざまなご協力をしていただいています。



移動店舗販売

地域の食の安全・安心と、お買い物の楽しみを継続していただけるよう、移動店舗販売およびお買い物サポートカーは、予防策を徹底した上で運行しています。

CHECK! 豊かな巣ごもりライフの提案

非常時においても豊かなくらしをサポートするため、WEBやSNSを活用して「巣ごもり生活」をお楽しみいただけるさまざまなコンテンツを配信しています。



レシピや自宅から参加できるリモートイベントなどをご紹介

コープおおいた



地域環境を
保全する

環境



環境活動を
推進する

リサイクル 活動



環境基金

有料レジ袋や宅配カタログリサイクルの益金などを「環境基金」として積み立て、環境活動や助成事業に取り組んでいます。

里山保全等環境保護活動 研究助成金

環境基金助成事業のひとつとして、里山保全などに関する研究活動に取り組む研究者および研究機関に助成金をお贈りしています。2019年度進呈「荒木川流域における里山の保全・再生と持続可能な観光の両立に関する実践的研究」(立命館アジア太平洋大学)



大分県地域環境保全基金 寄付金

大分県と締結している「レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定」にもとづき、有料レジ袋で得られた益金の一部を、環境保全の取り組みに役立ててもらう目的で大分県へ毎年お贈りしています。



絵本の贈呈

環境基金の一部を使用し、県内の幼稚園や保育園へ環境をテーマにした絵本を贈呈しています。モノを大切に作る心をはぐくむ環境教育の充実のために取り組んでいます。



水生生物観察会

大分マリンパレス水族館「うみたまご」やJA全農おおいたのご協力のもと、川や水田で生物観察会を開催しています。生物多様性の維持や里山保全、森林保護について子どもたちと学んでいます。



資源回収の 取り組み

「一人ひとりの一歩は小さいけれど、みんなの力を合わせれば大きくなる」を合言葉に、2019年度も多くのご組合員みなさまに、コープおおいたのさまざまな環境活動にご協力いただきました。

2019年度 回収量の報告

古紙類(牛乳パックとカタログ等)の回収量

約**90万8,566kg**

前年比**101.4%**

回収量の約7割がトイレットペーパーやティッシュペーパーの実質の原料となります。コアノンロール130m(S)1個276gで換算。約230万4,334ロールが再生されました。



タマゴパックの回収量(宅配・店舗対象)

約**4,434kg**(約22万1,900パック)

前年比**91.5%**

1パック約20gとして換算。タマゴパックとして再生されました。中にはリサイクル対象外の素材も含まれていましたが、それらはペレット化され繊維材料となりました。



プラスチックトレーの回収量(店舗のみ)

約**2,666kg**(約53万3,200枚)

前年比**100.6%**

枚数は1枚平均5gで換算。トレー1tあたりに原油2,400ℓ(原料+製造するためのエネルギー)が使用されています。



マイバッグ持参数

416万3,030人

前年比**94.6%**

マイバッグ持参率88.1%(前年より0.5%アップ)。レジ袋1枚に原油10ml(原料+製造エネルギー用)が使用されています。



ペットボトルキャップの回収量

約**2,192kg**
(約87万6,800個)

前年比**89.1%**

回収したペットボトルキャップは、回収業者を通じてPET原料としてリサイクルされます。



集品袋・カタログセット袋の回収量

約**6,676kg**
(222万5,333枚)

前年比**111%**

1枚平均3g(333枚/1kg)として換算。リサイクルポリ袋として再生されています。



廃油の回収量(店舗のみ)

約**3万9,715ℓ**

前年比**77.9%**

ドラム缶に換算すると、約199本分に相当。バイオディーゼル燃料として生まれ変わっています。
※コープおおいたでは燃料として使用せず、廃油の回収のみ行っています。



※イラストはイメージです。

コープおおいたと地域の歩み



1年間のできごと

